

石破首相 辞意

総裁選前倒し要求拡大

参院選大敗で政権運営困難

石破茂首相(自民党総裁)は7日、辞任の意向を固めた。複数の政権幹部が明らかにした。参院選大敗を受け、閣内を含む党所属国会議員や地方組織に総裁選前倒し要求が広がり、政権運営が立ちゆかかないと判断した。自民は早期に総裁選を実施し、後任選出を急ぐ。

首相は7月の参院選大敗直 関税交渉合意の実行を理由に 9月2日の両院総会でも当面後「政治空白をつくるべきで 続投方針を堅持した。の続投意向を表明していた。はない」と続投を表明。7月 アフリカ開発会議(TIC 一方、自民は総裁選前倒し28日の両院議員懇談会と8月 AD)や、韓国大統領の来日 の是非を判断するため党内手8日の両院議員総会で、日米 など外交日程にも取り組み、 続きに着手。8日に前倒しを



自民党の両院議員総会后、記者団の取材に応じる石破首相。7日に辞任の意向を固めた=2日、首相官邸

求める党所属国会議員から書面の提出を受け、都道府県連の要求と合わせて結果を公表する予定にしていた。閣僚経験者や副大臣、政務官から前倒し要求が相次ぎ、臨時総裁選の実施に必要な過半数に達するとの見方も出ていた。首相経験者の麻生太郎最高顧問や、石破内閣の鈴木馨祐法相も前倒しに賛成すると表明した。